

1996年3月13日第3種郵便物認可 1996年11月25日発行（第2・4月曜日発行）

News Source of Educational Audiology

会員の誌代は会費に含まれています

聴能情報誌

みみだより

第312号

第3巻

通巻397号

編集・発行人：みみだより会、立入 哉 〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2150-1-1-203 電話：0298-41-7069 FAX：0298-41-5682

Senso新発売

フルデジタル耳あな形補聴器

本誌310号で紹介したSensoのセミナーが開催された。このセミナーでは、Sensoの開発の歴史・オーディオロジカルな背景・技術的背景について説明が行われた。Sensoは、フルデジタル補聴器として市販世界初の補聴器となった。フルデジタル補聴器の今後を見通す上でも今回のセミナーは大きな収穫であった。

1. 補聴器の設定は専用のプログラマーで行う

デジタルならではの雑音低減回路のために、従来からの補聴器特性試験ができない。この回路は純音やコンポジットノイズのような機械音を雑音として認知し、キャンセルしようとする回路であり、このために騒音低減をすることができる。しかし、この回路のために、一般的な周波数特性検査ができない。ではどうやって周波数特性を決定するか？。Sensoでは、Senso自身を使った最小可聴閾値の測定を行い SensoGramと呼ばれる閾値評価を行う。これは補聴器のレシーバから音を出し、閾値を求める方法であり、補聴器装着時の閾値を求めるもっとも合理的な方法である。このSensoGramの結果をもとに自動的に仮設定が補聴器にプログラムされる。

2. ノンリニアのリニアリティの設定も可能

Sensoでは、HTL・UCL・Fbの3つの調整機能と、3チャンネル処理のカットオフ周波数の設定が可能である。HTLは、従来の補聴器のボリュームに相当する。HTLを調整すると、自動的に適切であろうUCLの値がセットされる。このことで、リニアリティが変わってくる。次にUCL機能では最大出力音圧設定をするが、同時に、コンプレッション比も変わり、AGC動作をする。Fbは、自動フィードバックマネージャー（=どのくらいボリューム設定だとフィードバックが起きるかを自動的に測定し、フィードバックが起らない範囲で増幅をしようとする処理機能）によって、自動設定されるが、手動で操作することで、AGCのニーポイント（AGC動作開始音圧）を変えることができる。

来年にかけて各社からフルデジタル補聴器の市販が続くことが予想される。Sensoは、フルデジタルの強みを生かした様々な機能を組み込み、従来の補聴器の問題点のいくつかを解決している。周波数特性試験ができないなど、フィッティングについて、どのように評価したら良いかのソフト面でまだまだ臨床技術が追いついてない実状がある。こうした高水準の補聴器技術をいかに聴覚障害児者に生かせるかどうかは、今後の適用と評価にかかっている。「今、まさに新しい時代の幕が開いてきた」という印象を受けた。

提案 全日聾研はこのままでよいのか？

今年の全日聾研が盛大に行われた。さて、「全日聾研はこのままでよいのか？」という
ことで、私なりの改革案を提示したい。主催者側の改革ではなく、参加者側の改革もあつ
てもよいのではないか。そんな発想でまとめてみた。

現状の問題点

1. 助言者の助言が必ずしも今後の方向性を示すものではない
2. 演題によっては、もっと適切な分科会での発表が考えられる場合がある
3. 複数の分科会にまたがって参加しにくい

改善提言

1. 助言者制の廃止→座長と指定討論者制
座長は議長としてそのセクションの運営の責任を持つ。
指定討論者は発表者の考えに意見と質問を用意する。
座長・指定討論者は、活発な意見を促すことに最大限の努力をする。
2. 今回、聴能に関する話題が、教育工学や寄宿舍分科会などで取り上げられていた。
どの分科会で発表するかは、発表者が決めるのではなく、開催校が決める。
従来の分類ではなく、2～6演題で内容が似ている演題のみで1分科会とする。
3. 発表時間・質疑時間を事前に明確に示す。
発表15分、質疑5分、分科会討議20分とすべて統一し、時間割を作る。
発表件数が少ない分科会は早く終わらせる。
発表件数が多い分科会は、細分化を進める。

例)

	101室	102室	103室	104室
9:00	幼児の発音 1	寄宿舍聴能 1	教科・算数 1	教科・国語 1
9:20	2	2	2	2
9:40	3	討議	3	3
10:00	討議		4	4
10:20		養護訓練① 1	討議	5
10:40	F M補聴器 1	2		討議
11:00	2	3	手話利用① 1	
11:20	3	4	2	
11:40	討議	討議	討議	
12:00				
13:00			手話利用② 3	幼児聴検① 1
13:20	養護訓練② 5	養護訓練③ 8	4	2
13:40	6	9	5	3
14:00	7	10	6	4
14:20	討議	11	7	討議
14:40		討議	討議	
15:00				
15:20	幼児聴検② 5	養護訓練④ 12	手話利用③ 8	指文字使用 1
15:40	6	13	9	2
16:00	7	14	10	3
16:20	8	15	11	討議
16:40	討議	討議	討議	

※参加者はどの分科会にどのように参加しようとまったく自由である。

※数字は発表番号。例えば、「FM補聴器」に関する演題が3つあり、その1・2・3

電波法

郵政省、補聴援助システム審議開始

郵政行政情報<Nifty-Serve、GO POSTALより> 7. 電気通信・電波

《96/9/30付:補聴援助システム用小電力無線設備の技術的条件 —電気通信技術審議会でワイヤレス補聴器の審議を開始》

郵政省は、本日、電気通信技術審議会（会長 西澤潤一東北大学長）に対し、「補聴援助システム用小電力無線設備の技術的条件」について審議を求め、同審議会では小電力無線設備委員会において審議を開始することといたしました。

1. 背景

近年、補聴器の小型化・高性能化の開発は目覚ましいものがあり、この開発に伴い、屋外等の離れた場所からでも、距離や周囲の騒音の影響を受けずに聞き取ることができる電波を利用した補聴援助システム（ワイヤレス補聴器）についての需要が高まっています。

聾学校等の教育の場においても、生徒の耳元に教師及び他の生徒の声を確実に届け、スムーズな会話を行うことのできるシステムが望まれています。また、日常生活で補聴器を利用している難聴者にあっても、講演などの場において講師の音がスムーズに聞くことのできるシステムが求められています。

このように、個人や集団で使用する電波を利用した補聴援助システムの技術的条件について検討する必要があります。

2. 補聴援助システムの概要

補聴援助システムは、健常者と難聴者が1対1等で使用する個人用システムと複数的人数が相互に通話する集団用システムが考えられます（別紙1（省略））。

3. 審議体制等

(1) 審議体制

ア. 審議体制は、諮問第26号「小電力無線設備の技術的条件」（1985年1月諮問）を継続して審議している小電力無線設備委員会において検討を開始します。

イ. 同委員会の構成及び同諮問の諮問理由等は、別紙2及び別紙3のとおりです。

(2) 答申を希望する事項

ア. 補聴援助システム用小電力無線設備に関する一般的条件

イ. 補聴援助システム用小電力無線設備の送信設備及び受信設備の技術的条件

(3) 答申を希望する時期／平成9年（1997年）1月頃

(4) 答申が得られたときの行政上の措置／関係省令等の改正に資する。

【参考】同委員会において、これまでに審議を行ってきたシステム及び現在審議中のシステムは、以下のとおりです。

1. テレメータ・テレコントロールシステム／

低速データ伝送システム／構内ページングシステム／移動体識別システム

2. ワイヤレス・マイクロホン

連絡用通信システム／高速データ伝送システム

- 3. 医療用テレメータ
- 4. 60GHz帯小電力ミリ波レーダ
- 5. 60GHz帯以外の小電力ミリ波レーダ
(平成8年(1996年)3月から審議開始、現在審議中。)

連絡先：電気通信局電波部移動通信課<電話：03-3504-4871>

別紙2：電気通信技術審議会 小電力無線設備委員会 構成員

区分	氏名	所属	備考
専門委員	内田 國昭	郵政省通信総合研究所 標準計測部長	委員長 (予定)
"	内海 要三	日本放送協会 技術局技術主幹	
"	奥田 友彌	(株)東芝 常勤顧問	(予定)
"	加藤 孝雄	(株)日立製作所 理事/情報通信事業部長	
"	川田 隆資	松下通信工業(株) 代表取締役社長	
"	久留 勇	日本モトローラ(株) 代表取締役社長	
"	小室 圭五	三菱電機(株) 情報通信システム事業本部顧問	
"	佐藤 健二郎	日本電信電話(株) サービス生産本部電波部長	
"	志水 清美	アンリツ(株) 常務取締役	
"	杉森 吉夫	日本テレビ放送網(株) 常務取締役技術局長	
"	高橋 富士信	郵政省通信総合研究所 関東支所長	
"	辻村 省治	日本無線(株) 常務取締役三鷹製作所副所長	
"	椿 稔郎	国際電気(株) 常務取締役電子通信事業部長	
"	トマス P. ローガン	米国電子協会 日本担当本部長 所長	
"	西澤 定律	沖電気工業(株) 専務取締役	
"	長谷川 徹	(財)無線設備検査検定協会 専務理事	
"	パトリック・キャロル	欧州ビジネス協会通信・情報処理委員会委員	
"	馬場 征彦	日本電気(株) 取締役支配人	
"	藤崎 道雄	富士通(株) 専務取締役	
"	森 忠久	(社)日本民間放送連盟 事務局次長兼研究所	
"	森永 範興	NTT移動通信網(株) 取締役設備部長	
"	山田 敏之	ソニー(株) 取締役・中央研究所長	
"	若尾 正義	(社)電波産業会 常務理事	

別紙3：諮問第26号：小電力無線設備の技術的条件

1. 諮問理由

近年の社会経済の進展に伴う電波利用の増大と電気通信技術の高度化を背景に、おおよそ空中線電力0.1ワット以下の小電力無線設備(発射する電波が著しく微弱な無線設備を除く)を用いて比較的狭い範囲で使用する無線通信の需要が増大してきている。

こうした小電力無線設備の需要は、テレメータ・テレコントロール、データ伝送、無線呼出、移動体識別等多岐にわたっているが、それらの電波監理については小電力という共通の特徴に対応した枠組みが期待されており、この枠組みの中でこれらの無線設備の普及及び発展を促進するための最小限の技術的条件について、継続的かつ能率的に検討していく必要がある。

以上のことから、小電力無線設備に関し、周波数の有効利用及び利用者の利便を考慮した技術的条件について諮問を行うものである。

2. 答申を希望する事項

- (1) 小電力無線設備に関する一般的条件
- (2) 小電力無線設備の用途ごとの送信設備及び受信設備の技術的条件

3. 答申を希望する時期/可及的速やかに

4. 答申が得られたときの行政上の措置/関係省令等の改正に資する

交換誌から

◇今回のWAVEの情報記事には間に合いませんでしたが、第1作で涙を誘った山田洋次監督作品『学校2』の字幕付きロードショーが藤沢市の「テアトル大丸」で3日間行われる。この噂を聞いた時は、今まで字幕上映がされなかった藤沢市だったので「おや？」と思いましたが、先日神奈川県ろうあセンター（藤沢市）へ行った時に理解！センターに映画館会社からポスター掲示の依頼があった際に「私共の施設は字幕付きでない映画のPRはできません」と優しいお顔の小原所長さんがキッパリ言ったそう。・・・そして、急ぎよ映画館の方で字幕付き上映を決定したというのだから、これはイイ話し。世の中、言ってみないとわからない！・・・ですね。教訓でした。

「横浜ウエーブ第43号 1996/10/15発行」より発行元の許諾を得て転載

※こんなことから日本語字幕が浸透することもあるのですね！

学校や関連施設へのポスター掲示依頼などの際にも、同じような交渉ができるのでは？

講演会ご案内

特別講演会「聴覚活用の実際」

日時 1996年12月6日（金）9：30～15：30

場所 アピオ大阪 小ホール（大阪市立労働会館）

JR環状線森ノ宮駅下車、5分

講師・テーマ

(1) 「聴覚活用の実際・基礎編」帝京大学 教授 田中美郷氏

(2) 「聴覚活用の実際・実践編」国際医療福祉大学 教授 廣田栄子氏

主催：（財）聴覚障害者教育福祉協会（電話：03-3203-4765、FAX切替）

来年度の主な学会の開催日程

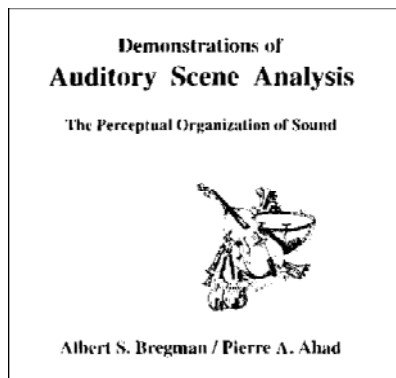
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会（別府市）	97年7月30日～8月1日
日本特殊教育学会（熊本）	97年10月10～12日
全日本聾教育研究大会（京都）	97年10月15～17日
日本聴覚医学会（東京笹川記念会館）	97年10月16・17日
フィッティング・フォーラム'97	97年10月18日（予定）
日本音声言語医学会（神戸国際会議場）	97年11月20・21日

CD紹介

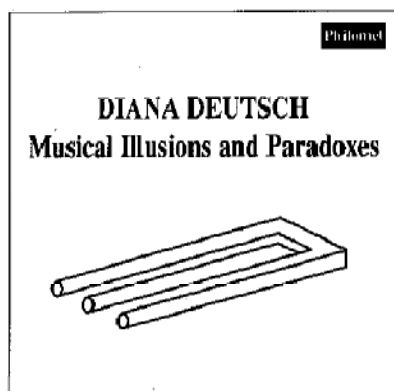
聴覚の錯覚を体験できるCD

今年の日本聴覚障害・教育工学研究会、夏期講習会に参加された方は記憶されておいでるかも知れないが、ATRの河原英紀先生が講演でお使いになったCDである。1つは聴覚の情景分析 Auditory Scene Analysisに関する素材、もう1つは、音楽や音程に関するものである。なお、解説書・CD中の説明などすべて英語である。注文はそれぞれの販売元にインターネット経由で注文できる。

<上> Auditory Scene Analysis
 Albert S.Bregman/Pierre A.Ahad
 ISBN : 0-262-542221-7
 出版元 : MIT Press
 注文先URL : www-mitpress.mit.edu
 価格 : 25 \$ + 荷造送料
 日本輸入代理店価 : 5,000円



<下> Musical Illusions and Paradoxes
 Diana Deutsch
 出版元 : Philomel Record
 注文先URL : www-philomel.com
 価格 : 14.95 \$ + 荷造送料



なお、編集部に上下の2CDのセットが6組あります。先着順でお譲りしますので、ご希望がございましたら、FAXにてご連絡をお願いします。セットで6,000円の実費を頂戴します。公費購入はお断りします。

個別での輸入は、インターネット上の各ブラウザで、URLを指定することで、ジャンプし、mitpressは通信販売コーナーに入り、CD名・住所・クレジットカードの番号などを入力すればOK。なお、Netscape ver.2以上のブラウザが必要です。philomelの方は注文用紙をダウンロードし印刷、記入の上、指定の電話番号にFAXで送信するシステムです。どちらも注文後、1~2週間で入手できます。

オージオメータとの接続に使用していた、電電公社仕様の真鍮製通信用プラグを製造していたメーカーが、同プラグの製造を中止したそうです。このプラグ、ビデオカメラのインカム用にも使われているそうで、価格が急騰。秋葉原で1ヶ950円もしました！。お店の人も「高い買い物をさせてすみません」という返事。

新刊図書

高田タツ物語 高田ろうあ連盟理事長親子の物語

耳聞こえぬ子支えた人生

「高田タツ物語」を出版

聴覚障害者の社会参加を進めるため、手話通訳の普及に力を尽くしてきた、全日本ろうあ連盟理事長の高田英一さん(左)の母親タツさん(右)の書簡(手紙)を描いた本「シリリス」が出版された。八歳の時、自家中毒にか



高田英一さんの母親タツさんの生き方を描いた「シリリス母——高田タツ物語」

かり耳が聞こえなくなった。「お母ちゃんの実任や」と言ひタツさんに、英一さんは「ぼくの運命やから、気にせんでええよ」と言う。

耳が聞こえないことに対して、周りの子供たちのいじめは激しかった。タツさんはいじめた子供たちに「そんないけず(意地悪)言わんといてや」と注意したり、親を訪ね、自分の思いを率直に話した。英一さんも、いじめた子供がいる小学校の校長に「ぼくたちをからかうのはやめさせてください」と、はっきり主張するようになった。英一さんは猛勉強で大学に進学。タツさんは病院で住み込みの看護助手をして学費を

ねん出した。仕事の選択の幅は狭かったが、英一さんは京都府職員に採用され、聴覚障害者の社会参加を進める運動を友人と始めた。

そこで知り合った英一さんと結婚。二人の子供が生まれた。タツさんは独立した息子、孫の成長を見ながら、「あの子の耳が良くなるように」と祈り続ける。英一さんたちの心の支えでもある。著者のひろのさんは手話通訳者を題材にした物語も書いており、週一回「タツさんを訪ねて取材を続け、この本をまとめた。「ハンディキャップのある人が障害のない人と同じ生活をするのが大望だった時代、一生懸命闘い続けてきた二人の記録を残したい」と思った」と話している。

問い合わせは文理閣(011-555-1175)。

朝日新聞10月19日掲載、朝日新聞本社の許諾を得て転載。

「高田タツ物語」新刊を機に、期間限定で文理閣にお願いして、「みみだより」ご愛読者に文理閣出版の書籍をご紹介します。詳しくは同封の別紙をご覧ください。別紙申込書での公費購入はできません。公費購入は書店とご相談願います。

文理閣フェア

聞こえない 子らのこと (高橋節著)

浜松ろう学校で14年、常に子どもに身を寄せてきた節先生の自伝的回想記。伸びやかで楽しかった新任の頃、ろう学校でのとまどいと生徒との交流、不当人事とのたたかい、まつぼっくりの家のことなどが感動的に綴られる。

おかあさんは手話通訳者 (西川式子著)

札幌の街の聞こえない人々とともに、喜びも悲しみも分かち合って歩んできた著者が語る感動の手話通訳人生。自らもけい肩腕症に苦しみながら、逆境に生きる女性たちへ献身的に接する姿は、読むものを圧倒する。

動くことば みることば—手話からの提言 (伊東雋祐著)

ろう教育、手話通訳活動に長年力を注いでこられた著者が、手話の成り立ちと手話表現、手話通訳活動と手話通訳者の問題、ろう教育と福祉についてなど、手話に関わるすべての人に味わい深く語りかける。

ことばの天使 (ひらのりょうこ著)

湖の町で手話に出会い、聴こえない人たちのことばの使いとして一生懸命通訳をしてきたふうこ。その彼女が重いけい肩腕障害になった。仲間たちは労災認定のために立ち上がりそして……。実話を元に詩人が描く珠玉の物語。

原爆を見た聞こえない人々 (長崎県ろうあ福祉協会)

18人の被爆ろうあ者が身体全体を使って次々と表現する生々しい当時の記憶、苦難のみちのり。語りたくても語れなかった聞こえない人々の思いを、10年にわたる地道な聞き書き作業をもとにまとめた50年目の被爆証言集。

写真集 ドンが聞こえなかった人々 (豆塚猛写真)

深い沈黙の海に沈んでいた長崎被爆ろうあ者の体験と素顔をまとめた画期的ドキュメント。36人のポートレートおよび全通研長崎支部の聞き書きにより、被爆から今に至るろうあ者の生と暮らしが浮き彫りにされる。

編集部でCD-Rが入りました。CD-RはCD-ROMを焼くことができる装置。300号以降の「みみだより」はCD-ROM媒体でバックナンバー集を作りたいと思っています。その他、補聴器フィッティング支援システムもCD-ROM版作成に向けて、CD-Rの使いこなしに没頭しています。パソコン関連の技術進歩が本当に速く、付いていくのに「必死」の状態です。もはや、Windows上のソフト開発はあきらめざるえない状況。その上、Internet、Javaと新メディアの続出。とても対応できなくなっています。

ところで、編集部のホームページを計画中です。ホームページ作成について、ご援助いただけの方がおられましたら、お知らせ下さい。「みみだより」の記事をホームページ形式で紹介したいのですが、HTML文書に変換する時間と技術に欠いています。仮設ホームページは、下記のアドレスです。URL : <http://www.justnet.or.jp/home/h-tachi/welcome.htm>。

310号「補聴援助システム」関連で朗報

22ページ掲載、アメリカの補聴援助システム関連でご質問がある場合、アメリカ在住のオーディオロジスト、田中美恵子先生がご相談にのっていただけることになりました。販売の仲介はしませんが、機器についてのご質問がある場合は、下記にFAXでお問い合わせ下さい。ご相談は日本語で大丈夫です。FAX:001-1-817-761-6113 (KDD利用)。

News

★HARC Mercantile、警報の視覚化装置を販売開始！

アメリカ HARC社は、緊急自動車のサイレンに反応して、これを82dBでの警報音と4つのLED光シグナルで表示する装置を開発した。およそ300Mの距離からのサイレン(66dB)に反応することができる。

このEARS (Emergency Vehicle Detection System) は、デジタル信号処理技術を生かし、米国内のすべてのサイレンに反応できるという。279.95\$。

聴覚障害者が自動車を運転している時、近づいてくる救急車や消防車に気付かず、危険な思いをすることも多い。そうした経験の持ち主には最適かも？。

なお、米国内でGM社の自動車を購入の際、本装置を取り付ける場合、GM社が装置費用と取り付け費用を払い戻すことになっている。

日本では市販されていないので、購入の場合は、本誌310号、22ページを参照の上、米国より通信販売で購入することになる。また日本で使用できるかどうかは調べていないので、日本での動作保証はしない。



★日本障害者リハビリテーション協会がパソコンネット開設

(財)日本障害者リハビリテーション協会は、厚生省の支援を受け、商用ネットとも接続できるパソコン通信ネットを開設した。この翼下に、聴覚障害者教育福祉協会、聴力障害者情報文化センター、テクノエイド協会などの関連施設のメニューが用意されている。詳しくは本誌12～13ページ参照。

★視覚障害者もFM電波利用を検討*

信越電気通信監理局は、電波を利用した障害者の生活支援策の調査研究会を設立。視覚障害者が必要とする音声情報をFM電波で送信するシステムの検討をする。

★オリックスレンタカーも50%引きを開始*

オリックスレンタカー (TEL:03-3779-3998)は、身体障害者手帳・療育手帳・被救護者旅客運賃割引証の交付を受けている本人または介護者が運転する場合、レンタカー料金の50%割引を開始した。

*)JDジャーナル 16(7)9,1996より

「FM補聴器の使い方」売り切れのご報告

ご好評をいただきましたビデオ・テキスト「FM補聴器の使い方」ですが、初版の1700部は3日間で完売、第二版の400部も1週間でなくなりました。第三版400部も残りわずかです。しかし、これからの需要が予想できませんので、これ以上の重版はしない予定です。今後のご注文には応じることができません。なお、ビデオの方はまだ作成可能ですので、お申し込み下さい。

研究会開催

電子情報通信学会教育工学研究会
日本聴覚障害・教育工学研究会共催

特殊教育

日時 11月22日(金) 10:00~16:30
会場 信州大学工学部電気電子工学科東棟3階第一講義室
(長野市若里500, JR長野駅東口長野電鉄バス
日赤行きで工学部前下車. TEL [0262] 26-4101)

議題 障害児(者)ー特殊教育ー

7. サインデックス試案 ー手話のラベリング化の概念ー
○神田和幸(中京大)・長嶋祐二(工学院大)・市川薫(千葉大)
8. サインデックス試案 ーサインデックスによる語彙のデータベース化ー
○神田和幸(中京大)・長嶋祐二(工学院大)・市川薫(千葉大)
9. 手話学習システムにおける学習管理
○寺内美奈(職能開発大)・長嶋祐二(工学院大)
10. 手話伝送システムS-TEL
○黒田知宏・佐藤宏介・千原國宏(奈良先端大)
11. 形態情報駆動型手話アニメーションシステム
○長嶋祐二・亀井了・杉山義昭(工学院大)

手話落語

ふれあいの祭典96 「ふれあい寄席」

日時: 12月6日(金) 18:30開演
会場: 東京都障害福祉会館(JR田町駅)
出演者: 古今亭圓菊、林家とんでん平、大食亭満腹他
参加費: 1000円
申込先: TEL:03-3455-6321、FAX:03-3454-8166

パソコン通信

ノーマネットで広がる世界

インターネットの旋風でパソコン通信も斜陽気味だが、書き込みのしやすさや、アクセスの容易さ、情報の多さではまだまだパソコン通信網は力強い見方である。こうした中、(財)日本障害者リハビリテーション協会は、総合パーソナル通信サービスの提供を開始し、障害児者諸団体のネットを組み始めている。まだまだ始まったばかりで書き込みは少ないが、今後期待できるネットの1つである。

以下に、PCVANとNifty-Serveでの接続例をご紹介します。

PCVANの場合

>J NORMA

ノーマネット (NORMA)

1. お知らせ
2. ノーマネットへ接続
- E. コーナー終了

番号またはコマンド(H, Q, E, J)=2

よろしいですか(Y, N)=Y

只今、センターと接続中です。

ノーマネットは、

(財)日本障害者リハビリテーション協会の提供の総合パーソナル通信サービスです。

* プロファイルを修正しますか(Y, N, GW)=N

ノーマネットメインメニュー (MAIN, HPMAIN)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ノーマネット利用情報 | 2. メールを読む |
| 3. — | 4. ノーマネットナビ |
| 5. 行政情報 | 6. 医療情報 |
| 7. 福祉機器情報 | 8. 福祉施設情報 |
| 9. ボランティア情報 | 10. 文化・レクリエーション |
| 11. 福祉マップ | 12. 雑誌・文献情報 |
| 13. 電子図書 | 14. 文字放送 |
| 15. ゲートウェイ | 16. 団体情報 |
| 17. 企業情報 | 18. 防災情報 |
| 19. 国際情報 | Q. 終了 |

ここで、16. 団体情報を選択すると、以下のメニューがでる。

東京 (DATKO, HPDATKO)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. アクセスクラブ | 2. 難病の医療・福祉相談 あせび会 |
| 3. 共同作業所全国連絡会 | 4. 車椅子バスケットボール連盟 |
| 5. 国際連合広報センター | 6. JAKP 腎臓病患者会 |
| 7. JPCのご案内 | 8. 障全協：障害者・家族人権ネット |
| 9. 障都連情報 | 10. 職能訓練センター |

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 11. 新宿自立情報支援センター | 12. 心身障害児総合医療療育センター |
| 13. 精神障害者社会復帰促進センター | 14. 全国重症心身障害者を守る会 |
| 15. 全国心臓病の子供を守る会 | 16. 全障研ねがいネット別館 |
| 17. 聴覚障害者教育福祉協会 | 18. 聴力障害者情報文化センター情報 |
| 19. テクノエイド協会 | 20. 鉄道弘済会 |
| 21. 東京コロニー | 22. 戸山サンライズ |
| 23. 日本筋ジストロフィー協会 | 24. 日本作業療法士協会 |
| 25. 日本肢体不自由児協会 | 26. 日本障害者協議会（JDネット） |
| 27. 日本身体障害者団体連合会 | 28. 日本精神薄弱者福祉連盟 |
| 29. 日本赤十字社 | 30. 日本点字図書館 |
| 31. 日本盲人会連合 | 32. 日本リハビリテーション振興会 |
| 33. ネットワークO I（骨形成不全） | 34. 発達協会（さざんかの会） |
| 35. 福祉システム研究会 | 36. 福祉のまちづくりウォッチング |
| 37. リハ協 | E. コーナー終了 |

ここで、18. 聴力障害者情報文化センターを選択すると、以下のメニューがでる。

聴力障害者情報文化センター情報（CYORYOKU, HPDCRYO）

1. お知らせ
2. 団体管理者宛にメールを送る
3. 聴力障害者情報文化センター紹介
4. 申し込みのご案内
5. ビデオ最新情報
6. 手話通訳士試験制度
7. 生活・文化情報
8. 情報提供施設情報
9. 聴覚障害者団体情報
10. フォーラム
- E. コーナー終了

Nifty-Serveでの接続

>GO NORMA

障害者情報ネットワーク NORMA

本サービスは、障害者情報ネットワークへのゲートウェイサービスです。

* 初めて利用される場合、パスワードは大文字半角で「NORMA」と入力ください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. ご案内 | 2. 利用規約 |
| 3. サービスの使い方 | 4. サービスに入る |

>4

ただいま接続中です。しばらくお待ちください

パスワード：NORMA

以下、PC-VAN利用法と同じ

新刊パンフ

はじめてお使いになる方へ 補聴器ガイドブック

(社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会は、平成8年用寄附金付きお年玉付郵便葉書等寄附金の援助を得て、「はじめてお使いになる方へ、補聴器ガイドブック」を発行した。この冊子は、ミニストーリー「補聴器を使おう」に始まり、耳の聞こえとしくみ、難聴の種類と聞こえ方、補聴器の選び方、補聴器のタイプと特徴、補聴器の使い方、使い方のヒントなどが書かれている。

冊子の内容は、いわゆる老人性難聴のような後天的な成人難聴者が自分で補聴器のことを知るという視点で書かれている。いわば、補聴器の入門書である。

入手したい場合は、下記の発行元にお問い合わせすることで入手できるが、送料は自己負担。

発行元：全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
〒162 東京都新宿区市谷台町14番地 MSビル市ヶ谷台2F
TEL:03-3225-5600、FAX:03-3354-0046 (Fネット)



Call for Abstracts

Second Biennial Hearing Aid Research and Development Conference
September 22-24, 1997 National Institutes of Health Bethesda, Maryland
Abstracts must be postmarked no later than March 15, 1997

HIDCD/VA Hearing Aid Research and Development Conference
c/o Tascon, 7101 Wisconsin Avenue, Suite 1125, Bethesda, Maryland 20814 U.S.A.

Purpose

The National Institute on Deafness and Other Communication Disorders (NIDCD) and the Department of Veterans Affairs is sponsoring the second biennial Hearing Aid Research and Development Conference for the presentation of ongoing or completed research relevant to hearing aid design and function. The objectives are to share and critically examine, in a setting that stimulates creative debate and interactions, current research relevant to speech understanding in noise, amplification and signal processing, addressing such topics as: speech perception/psychophysics/physiology of the auditory system/technological developments/clinical trial results.

新刊図書

- ★「窓口で役立つ手話ハンドブック」窓口の手話研究会編、あすなろ書房
役所・金融機関・交通機関・デパート・病院・会社・図書館などでの場面を想定した文章に手話の絵を付けている。手話の教習本というと、単語の辞書のような本が多い。その中で、確かに場面集的な文章から手話を学んでいこうというやり方は的を得ているとも思える。1,800円。ISBN4-7515-0056-2。
- ★「音のコミュニケーション工学」北脇信彦編著、コロナ社
副題：マルチメディア時代の音声・音響技術。めまぐるしく進展する最新音響技術を一般向きに平易に紹介してある。特に、マイクロホンアレー、ハウリング抑制、音場制御、音声の品質などの研究分野での最新情報に触れられることは楽しい。こうした技術は、まだ直接、補聴器に役立つ技術ではないが、近い将来、補聴器に生かされるであろう技術であることに間違いない。3,811円。ISBN4-339-01101-0。
- ★「Cochlear Implant Rehabilitation in Children and Adult」
edited by Dianne J.Allum / Whurr Publishers
人工内耳に関する様々な面について書かれた最新のテキスト。18章は城間将江先生が執筆されておられる。日本語版が欲しい！と思う1冊。以下は主な目次。
- Basics of Cochlear Implant Systems/Evaluation of the Benefit of the Multichannel Cochlear Implant in Children in Relation to its Cost/Monitoring Progress in Young Children with Cochlear Implants/An Integrated Rehabilitation Concept for Cochlear Implant Children/Parent- and Patient-Centred Aural Rehabilitation/The Management of Cochlear Implant Children/A Service Network for Rehabilitation of Cochlear Implant Users/Managing Educational Issues Throughout the Process of Implantation/Auditory Pre-training and its Implications for Child Development/Components of a Rehabilitation Programme for Young Children using the Multichannel Cochlear Implant/Achieving Auditory Speech Perception Skills in Profoundly Deaf/Children with Hearing Aids and Cochlear Implants/Rehabilitation Procedures Adapted to Adults and Children/A Psycholinguistic Approach to the Rehabilitation of Cochlear Implant Children/Adolescents and the Cochlear Implant/Therapeutic Concepts for Training Cochlear Implant Patients Who Have Good Preoperative Language Skills/Maximising Overall Communication Abilities for adult Cochlear Implant and Hearing Aid Users/Rehabilitation in adult Cochlear Implant Patients/Clinical Application of the Landscape Montage Technique for Counselling Cochlear Implant Recipients and Families/Adult and Child Rehabilitation Approaches: Auditory/Oral versus Signing/Speaking/Differences in Postoperative Management of Postlingual and Prelingual/Adults and Children using Cochlear Implants
- ★「身体障害者福祉関係法令通知集」厚生省社会・援護局更正課、第一法規
〈平成7年版〉。身体障害者福祉法の事務担当者が、日常の業務を遂行する上で必要な関係法令・通知等を収録してある。局長・課長通知まで含まれており、何かと便利。補聴器の交付申請や各種手当てなどの相談を受ける担当の方は必携。
5,200円。ISBN4-474-00633-X。

「PiPiとべないホテルは、やさしさや思いやり、勇気を
 伝えてくれる。とてもステキなアニメーション映画です。」

映画上映 PiPi とべないホテル

東京都で下記の日程で上映される。世田谷区は「日本語字幕付き」。

世田谷区

11月23日	烏山区民センター	上映時間	10:00	12:20	14:30
11月24日	世田谷区民会館		10:00	13:30	
11月30日	砧区民会館		14:00	16:00	18:00
12月21日	玉川区民会館		14:00	16:00	18:00

足立区

1月5日 西新井文化ホール
 1月6日 西新井文化ホール

世田谷区での上映は、
 世田谷区教職員組合に問い合わせを
 TEL:03-3427-8811、FAX:03-3427-6521

青梅市

1月25日 青梅市民会館
 1月26日 青梅市民会館

杉並区

2月2日 杉並区民会館
 2月8日 セシオン杉並

北区

2月2日 赤羽会館
 2月8日 北とぴあ

大田区

2月11日 大田区民センター
 2月16日 大田区民センター

世田谷区以外での字幕付き上映は要望次第とも？。東京での上映は下記にお問い合わせを。配給元：東京フィルムズ TEL:0422-42-1758、FAX:0422-42-1769。

ホテル自室でFAX送信、パソコン通信、携帯用情報ツールを使うために

Nifty-Serveに、自室にモジュージャックが付いているホテルリストがある。

>GO SOLTJで「ONLINE TODAY JAPANステーション」にジャンプ

1. OLTJ編集会議<Home>

3:電子会議

15	355 (355)	11/04	モジュージャック付きホテル情報大募集!!Vol. 2
16	512 (13)	05/16	モジュージャック付きホテル情報大募集!!

登録事項：ホテル名／所在地／最寄りの駅／駅からの距離／電話番号／FAX番号
 モジュージャックの有無／標準料金／確認日時方法／補足コメント



1991年、第一級
1991年、第一級
1991年、第一級

文を成るようになり、ボク
アトで仕事を探入、法人
のアドバイザーが、法人
化し始めた。
出資金は、入、百五十
ル、は、フランス語で、先
喜、の、も、高、
ランクに飛び出そう、の、思、
を、込、め、た。
社会部、大阪、兵庫、熊本

字幕挿入は、教養部
組が随時者が登場するドラマは
から、パワースタイルやトレン
「ド」な、若し人が音調、
見、番、組、見、て、は、こ、こ、
、遊、園、地、内、を、約、一、十、
、遊、園、地、内、を、約、一、十、
、遊、園、地、内、を、約、一、十、



母親たちが、輪舞をし、舞臺の
変、し、さ、を、と、五、年、前、の、シ、ン、
、変、し、さ、を、と、五、年、前、の、シ、ン、
、変、し、さ、を、と、五、年、前、の、シ、ン、
、変、し、さ、を、と、五、年、前、の、シ、ン、

非個人を、初仕事、二十分
、非個人を、初仕事、二十分
、非個人を、初仕事、二十分
、非個人を、初仕事、二十分

96年5月12日
読売新聞掲載
読売新聞本社の
許諾を得て転載

字幕挿入は意外と簡単になった！

以前はPSI400などのボードを使った字幕挿入が一般的でしたが、最近(株)システックの「PCスタジオ」を使うのが簡単。ソフト付きで、49,800円。画面に手話が挿入できるデジタルエフェクト機能付きは69,800円。ともに最大100画面の字幕挿入が限度だが、通常の番組であれば十分。ちょっとした教育テレビ番組ならば、2時間ほどで字幕を付けられます。詳しくは(株)システックへ。
〒476 愛知県東海市名和町のちどり20-2 TEL:052-601-4911 FAX:052-601-5789

「みみだより311号」について

本誌前号、311号の記事について、読者の方からご指摘を受けましたので、以下の追加をさせていただきます。ご指摘ありがとうございました。

1. ループが受聴者に一定レベルの信号を届けられないことについて

磁気信号の受信機を別に用意し、その受信機から補聴器にオーディオインプットなどの方法で信号を伝えられる方法をとれば、受信機のボリューム調整によって一定レベルにすることは可能です。また、MTバランスが付いている一部の補聴器であれば、問題を解決することができます。

2. ループの問題は、補聴器の高さ・傾きによるレベル変動にある

このご指摘ももっともでして、ループの欠点として触れなかったことに落ち度がありました。例えば「おはようございます」という時にお辞儀をすると、「おはようございます」のようになってしまうこと、また、幼児が床にゴロゴロと寝ている時には、必要以上に大きなレベルで音を聞かせてしまうこともループシステムの問題点です。

3. 「磁気漏れ」について

実際にループを用いた会場の成人難聴者に適切なレベルを指示してもらうと、だいたい300~400mA/mが好まれることが多い。私の以前の実験では、同じ出力レベルに調整していると相互の干渉が起こることを確認できた。しかし、300~400mA/mに出力を調整すると、干渉が起きたとしても影響が出ることに間違いはなく、当該教室の教師の声のレベル(S)と、他教室の教師の声(N)の比が悪くなる。磁気漏れの問題は、こうした、補聴援助システムがS/N比の向上を目的としているにも係わらず、S/N比を向上できない問題としてとらえることの方が適切である。

その他、数名の方から、提案を含めた貴重なご意見を頂戴しました。徳島県中途失聴・難聴者協会会長の遠藤孝様からは20枚余のFAXを頂戴しました。補聴援助システムの問題がこれほど関心が高いことに、本当に驚いています。頂戴したご意見は、整理して、順々にご紹介していきたいと思っております。

「みみだより」バックナンバー集 203~299、ただ今、印刷中

ご予約を頂戴している先生方には印刷終了次第お送りいたします。203~209号のご予約が少なかったために冊子代がお知らせした費用より高くなってしまふこと、また、202号までの分のバックナンバー集は予約些少にて印刷を断念しました。202号以前の分の予約を頂戴した先生には、以前、印刷したバックナンバー集の残部を抽選でお送りします。抽選の結果は発送をもってお知らせいたします。

シ ン ポ ジ ウ ム

聴覚の障害を理解・啓発するための 公開シンポジウム

1. 日時 12月13日(金) 10:00~16:30
2. 会場 筑波技術短期大学聴覚部学生会館講堂
3. 主催 筑波技術短期大学
4. 内容 テーマ「聴覚障害学生の学力」 司会：大沼直紀
シンポジストと話題(仮題)： (敬称略)
井原栄二(愛媛大学教授)「聴覚の障害と学力」
土田 理(技短一般教育等講師)「一般教育等の教育と学生の学力」
遊佐伸彌(技短デザイン学科教授)「デザイン学科の教育と学生の学力」
高島弘教(技短機械工学科教授)「機械工学科の教育と学生の学力」
藤沢正視(技短建築工学科助教授)「建築工学科の教育と学生の学力」
志水康雄(技短電子情報学科電子工学専攻助教授)
「電子情報学科電子工学専攻の教育と学生の学力」
長谷川洋(技短電子情報学科情報工学専攻助教授)
「電子情報学科情報工学専攻の教育と学生の学力」
5. 参加費：無料
6. 参加方法：事前の参加申し込みは不要
7. 手話通訳が付きます。宿泊・交通の手配は参加各自で行って下さい。

詳しくは・・・筑波技術短期大学 庶務課研究協力係

〒305 茨城県つくば市天久保4-3-15

TEL：0298-58-9410、FAX：0298-58-9312

安川宏先生の追悼研究会の冊子をお譲りします

故安川宏先生の追悼をして行われた研究会の資料集・安川先生の最後の講演になった和歌山での講演・音声テープと講演資料の残部がございます。故安川宏先生をご存じの先生で、ご覧になりたい先生がおられましたら、編集部までご連絡下さい。費用は印刷代1,500円と送料実費390円を頂戴いたします。

内容： 特別講演「脳と音楽」加我君孝教授(東京大学医学部)
「安川先生と共に30年」竹内菊世先生(元徳島県立聾学校)
セッション「音楽」・「早期発見・早期教育」・「フリーペーパー」の記録